

整理番号	47 - 13	事務事業名	(体育施設管理事業) 住民プール管理事業	作成部署	生涯学習部体育課	電話	内線890
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 山内平一郎	課長職名	松尾定治	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S39	根拠法令等	北広島市体育施設条例				
〃 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	東部中学校(北の台小学校)に学校プールとして生徒会等の要望で整備し、その後、西部、大曲の順に市内6ヶ所の住民プールを整備して市民に開放している。						

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	スポーツ・レクリエーション	(第5節)
	施策	施設の整備と運営	(第3施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	市民、住民プール	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	住民プールを市民に一般開放し、夏季における体力増進、健康維持の場を提供する。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	H9年度 東部住民プール簡易温水化 H12年度 白樺プール簡易温水化 H14年度 大曲住民プール簡易温水化 H14年度 プール管理運営を民間へ委託 H15年度 西の里住民プール簡易温水化 H16年度 緑葉公園プール簡易温水化
		17年度	緑葉公園プール簡易温水開始 白樺プール上屋シート更新

## 2 実施(ドゥ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	30,079	26,349	26,749	26,749
合計	30,079	26,349	26,749	26,749	
人件費 (概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +	30,979	27,249	27,649	27,649	

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	開放日数(簡易温水プール)	3カ所 106日	4カ所 100日	5カ所 90日	5カ所 90日
	(一般プール)	3カ所 64日	2カ所 59日	1カ所 52日	1カ所 52日
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	利用者数(簡易温水プール)	29,031人	34,631人	39,000人	39,000人
	(一般プール)	6,395人	5,188人	2,000人	2,000人
	合計	35,426人	39,819人	41,000人	41,000人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	利用者1人当りコスト	849円	684円	674円	674円
	(総事業費 / 利用者総数)				
	開放日1日あたりコスト	176,935円	171,377円	194,711円	194,711円
	(総事業費 / 開放日数)				

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	市民の健康増進への関心が高い中、それに向け施設整備をしてきたが、今後は、西部住民プールの整備を実施していく。
---------------------------------	--

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	施設を保有している市が管理することは適切である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の健康増進・体力づくりを助長する為にはプールを市民に開放することは妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	平成14年度から民間委託し、事務の軽減が図れ適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)  該当しない	6施設が有料施設として可能かどうか検討する。	有料化が可能な場合、施設使用料金の設定を検討する。

**【有効性と効率性の評価と改善の方法】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	利用者数は、簡易温水化に伴い、その年の天候に左右されることなく増加傾向にあり、水泳教室なども行われ安定して開放出来ているので成果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	施設管理を委託したことによってコスト削減を図っており、概ね効率的と考える。	

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

**4 総合判定と今後の方向性**

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	指定管理者制度導入に合わせ、有料化について検討する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり